

バイオクラスター推進協コンテスト

最優秀賞に

緒方エッグ 合志市 ファーム



九州7県の産官学でつくる「九州バイオクラスター推進協議会」（会長・小野友道熊本大名誉教授）は、素材・製品コンテストの最優秀賞に、緒方エッグファーム（合志市）の鶏卵「オメガ3ナチュラルエッグ」を選んだ。九州にはバイオ関連の企業や大学が多数集積。同協議会は、機能性食品や健康食品の開発などを支援する目的で2007年に発足した。コンテストを開く

のは今回が初めて。同ファームはニワトリの飼料に、中性脂肪の低下や心血管の疾患抑制などに効果があるとされる脂質「オメガ3」を含む植物の亜麻^{あま}を導入。卵はフランスの食品承認制度「ブルー・ブラン・クール（BBC）」を国内で初めて受けた。受賞した卵は、通常の卵に比べてオメガ3成分のドコサヘキサエン酸（DHA）やアルファリノレン酸を約5

倍含む。黄身にコクと甘みがあるのが特徴という。

人の健康を、家畜の健康から考えるコンセプトなどが評価された。緒方克也社長（47）は「食生活の変化に合わせて摂取する機会の少なくなったオメガ3を、身近な食材を通して届けたい」と話す。

コンテストには11社の応募があり、優秀賞3点と特別賞5点も決まった。県内では、キノコの製造販売の鷹乃^{たかの}産業（人吉市）が開発した「きくらげクッキ」が優秀賞に選ばれた。「栄養価が高く、全国一の生産量がある熊本のキクラゲを、お菓子として気軽に食べてもらいたい」と同社。表彰式は9日、福岡市で開かれる。

（中尾有希）

受賞が決まった緒方エッグファームの「オメガ3ナチュラルエッグ」＝合志市